

We can do it!

栗生小学校 5年生
令和6年2月22日
第34号

大きく成長した児童会役員選挙

2月14日(水)に児童会役員選挙を行いました。これまで、立候補者はもちろん、立候補しない児童も推薦責任者として選挙に向けての準備をがんばってきました。「全員で児童会役員選挙に臨むんだ」「全員で6年生になるんだ」という思いをもち、支え合っている姿から、この1年で高学年として大きく成長したのだと強く感じました。立ち合い演説会では、7人の立候補者が堂々と自分の思いを全校児童に伝えました。どれも一人一人の熱い思いが伝わってくるすばらしい演説でした。

児童会役員選挙は終わりましたが、ここがゴールではありません。ここからがスタートです。これからどんな学年を目指すのか、どんな学校にしたいのかを考え、全員で行動に移していかなければなりません。児童会役員とそれを支えるサポーターとして期待しています。



今日、児童会役員選挙がありました。私はドキドキしながら演説をし、結果を待ちました。放送が鳴り、いよいよ結果が発表される時がやってきました。結果を聞いて、悔しくて悲しい気持ちになりました。この気持ちは胸の中におさえておこうと思っていたけれど、先生や友達からの「がんばったね。」という言葉で涙が止まらなくなりました。心の中に悔しい気持ちがいっぱいになってすぐに気持ちを切り替えることができませんでした。

私は、この児童会役員選挙の経験を生かして下級生から憧れられる六年生になろうと改めて思いました。そして、児童会役員になった四人を支えられるようにがんばります。児童会役員にはなれなかったけれど、演説で言ったように、栗生小学校のあいさつをもっとよくするために、自分から先輩たちを越えるあいさつを心掛けていきたいです。

涙でいっぱいになった私を優しく励ましてくれた先生や友達に感謝でいっぱいです。これから、児童会役員でなくてもがんばります。

加茂 瑞稀

「がんばれ!ゆのならでできる!」
たくさんの人にそう応援してもらい、私は今日を「がんばるぞ」という気持ちで迎えることができました。この児童会役員選挙を通して私が感じたことは二つあります。

一つ目は、受かったけれど安心している場合ではないということです。会長になることができたことは、もちろんすごくうれしいです。だけど、私は児童会役員になれなかった子の努力もずっと見えています。これまで一緒にがんばってきた仲間です。だからこそ、その子達の方まで全力で任務をやり切りたいと思います。

二つ目は、みんなに感謝を伝えたいということです。練習に付き合ってくれた家族、たくさんアドバイスをしてくれた六年生、背中を押してくれた先生方、一緒にがんばり支え合ったクラスみんな。たくさんの方の支えのおかげで今日までがんばることができました。だから、これからもこの感謝の気持ちを忘れないでいきたいです。

私はこれから学校の顔としてもっともっと頑張ります。そして、みんなから認められる会長になりたいです。

皆米 由乃